

経済学院入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）

会計情報専攻（会計専門職大学院）

1. 一般入試

北海道大学大学院経済学院経済学院会計情報専攻（会計専門職大学院）は、21世紀に相応しい高度な専門性と幅広い視野、そして社会的責任感と倫理観を備えた会計専門職の養成を目指している。教育目標は、(1)ビジネスの先端で活躍できる会計専門職及び(2)地域社会に貢献する会計専門職の養成である。本一般入試においては、こうした教育目標に鑑みて、基礎的な学力に加えて、①会計専門職教育の基礎となる会計知識、②社会・経済問題に対する関心と理解及び③社会的公正性に対する認識を身につけた人材を選抜する。

なお、入学する学生は、大学において「簿記（論）」、「財務諸表論（財務会計論）」、「管理会計論」、「原価計算論」、「監査論」等について学習していることを期待する。簿記（論）は、会計学を理解する上での基礎であり、十分な理解が求められる。「財務諸表論（財務会計論）」、「管理会計論」、「原価計算論」、「監査論」は、会計が実務でどのように利用されているかを理解するために必須の知識である。

入学者選抜の基本方針

一般入試では、基礎的な学力については出願書類により、会計専門職教育の基礎となる会計知識については学科試験（専門科目（共通科目））及び学科試験（専門科目（選択科目））により、社会・経済問題に対する関心と理解及び社会的公正性に対する認識については出願書類及び学科試験（専門科目（選択科目））により評価し、入学者を選抜する。

評価方法の比重

入試区分		基礎的な 学力	会計専門職教育の基 礎となる会計知識	社会・経済問題に対 する関心と理解	社会的公正性に対 する認識
一般入試	出願書類	○		○	○
	学科試験 （専門科 目（共通 科目））		◎		
	学科試験 （専門科 目（選択 科目））		○	○	○

※◎：重視する要素，○：総合的な判断となる要素

2. 特別入試

北海道大学大学院経済学院会計情報専攻（会計専門職大学院）は、21世紀に相応しい高度な専門性と幅広い視野、そして社会的責任感と倫理観を備えた会計専門職の養成を目指している。教育目標は、(1)ビジネスの先端で活躍できる会計専門職及び(2)地域社会に貢献する会計専門職の養成である。本特別入試においては、

こうした教育目標に鑑みて、基礎的な学力に加えて、①会計専門職として求められる基礎的な思考力、分析力及びコミュニケーション能力、②社会経済の動向に強い関心を持ち経済問題について自ら考える能力及び③社会的利益に配慮して自らの行動を律する能力を備えた人材を選抜する。また、会計実務経験を有する者に関しては、自らの経験を客観的に分析し、それを会計専門職に相応しいものへと発展させることができるかどうかについても考慮する。

なお、入学する学生は、大学において「簿記（論）」、「財務諸表論（財務会計論）」、「管理会計論」、「原価計算論」、「監査論」等について学習していることを期待する。簿記（論）は、会計学を理解する上での基礎であり、十分な理解が求められる。「財務諸表論（財務会計論）」、「管理会計論」、「原価計算論」、「監査論」は、会計が実務でどのように利用されているかを理解するために必須の知識である。

入学者選抜の基本方針

特別入試では、基礎的な学力については出願書類により、会計専門職として求められる基礎的な思考力、分析力及びコミュニケーション能力及び社会的利益に配慮して自らの行動を律する能力については面接（口述試験）により、社会経済の動向に強い関心を持ち経済問題について自ら考える能力及び会計実務経験を有する者における自らの経験を客観的に分析し、それを会計専門職に相応しいものへと発展させる能力については出願書類及び面接（口述試験）により評価し、入学者を選抜する。

評価方法の比重

入試区分		基礎的な学力	会計専門職として求められる基礎的な思考力、分析力及びコミュニケーション能力	社会経済の動向に強い関心を持ち経済問題について自ら考える能力	社会的利益に配慮して自らの行動を律する能力	会計実務経験を有する者における自らの経験を客観的に分析し、それを会計専門職に相応しいものへと発展させる能力
特別入試	出願書類	○		◎		○
	面接（口述試験）		◎	○	◎	○

※◎：重視する要素，○：総合的な判断となる要素

3. 特別選抜入試

北海道大学大学院経済学院会計情報専攻（会計専門職大学院）は、21世紀に相応しい高度な専門性と幅広い視野、そして社会的責任感と倫理観を備えた会計専門職の養成を目指している。教育目標は、(1)ビジネスの先端で活躍できる会計専門職及び(2)地域社会に貢献する会計専門職の養成である。また、本専攻では北海道大学の4つの基本理念（フロンティア精神、国際性の涵養、全人教育、実学の重視）に基づく教育を目指している。本特別選抜入試においては、こうした教育目標および基本理念に鑑みて、北海道大学に在籍する学

生を対象に、基礎的な学力に加えて、①会計専門職として求められる基礎的な思考力、分析力及びコミュニケーション能力、②社会経済の動向に強い関心を持ち経済問題について自ら考える能力及び③社会的利益に配慮して自らの行動を律する能力を備えた人材を選抜する。

なお、入学する学生は、大学において「簿記（論）」、「財務諸表論（財務会計論）」、「管理会計論」、「原価計算論」、「監査論」等について学習していることを期待する。簿記（論）は、会計学を理解する上での基礎であり、十分な理解が求められる。「財務諸表論（財務会計論）」、「管理会計論」、「原価計算論」、「監査論」は、会計が実務でどのように利用されているかを理解するために必須の知識である。

入学者選抜の基本方針

特別選抜入試では、基礎的な学力については出願書類により、会計専門職として求められる基礎的な思考力、分析力及びコミュニケーション能力及び社会的利益に配慮して自らの行動を律する能力については面接（口述試験）により、社会経済の動向に強い関心を持ち経済問題について自ら考える能力については出願書類及び面接（口述試験）により評価し、入学者を選抜する。

評価方法の比重

入試区分		基礎的な 学力	会計専門職として求 められる基礎的な思 考力、分析力及びコミ ュニケーション能力	社会経済の動向に 強い関心を持ち経 済問題について自 ら考える能力	社会的利益に配慮 して自らの行動を 律する能力
特別選抜 入試	出願書類	○		◎	
	面接（口 述試験）		◎	○	◎

※◎：重視する要素，○：総合的な判断となる要素